

？より質の高い医療を実現する

医療現場の 「見えない情報」 を可視化

エンベディングAI

患者様と医療従事者の未来を明るく照らす、
AIの新たな可能性

このようなお悩み、ありませんか？

～現場の切実な声～

日々の診療でお忙しい中、このような課題を感じていらっしゃるのではないですか？



「最適な症例がなかなか見つからない...」

膨大な記録の中から、本当に参考にしたい症例を効率的に検索できない。



「記録はしているけど、後から探しにくい...」

形式の異なる記録や手書きメモなど、情報が点在し、必要な時にアクセスできない。



「あの時の記録、どうやって探せば...」

時間が経つと、キーワードすら思い出せず、貴重な情報が埋もれてしまう。



「見落としがちな疾患、もっと早く気づけないか...」

電子カルテの情報から、潜在的なリスクや稀な疾患の兆候を早期に察知したい。



「救急時、もっと迅速に必要な情報を...」

限られた時間の中で、患者さんの状態に応じた適切な問診項目や検査候補を瞬時に把握したい。



「キーワード検索では限界がある...」

単語だけではヒットしない、あるいはノイズが多く、本当に必要な情報にたどり着けない。

そのお悩み、「エンベディングAI」が解決します！

言葉の「意味」を理解するAIが、医療情報の活用を飛躍的に向上させます

データソース:

- 電子カルテデータ
- 医療論文
- 検査結果
- 症例データ
- 医療画像



医療現場で実現できること



高度な意味検索

キーワードだけでなく、文脈や意味に基づいた検索が可能に



類似症例の即時発見

自然言語での検索で、関連性の高い過去症例を瞬時に特定



見落としリスクの低減

潜在的な疾患リスクを事前に検知し、早期発見をサポート



救急対応の迅速化

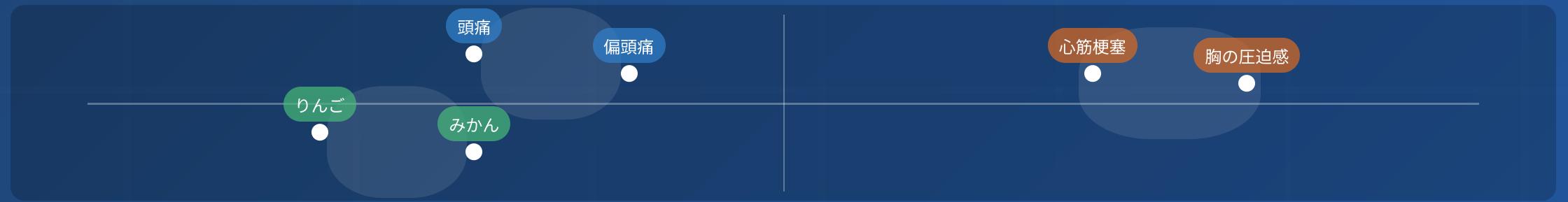
限られた情報から最適な問診・検査項目を即座に提案

エンベディングAIとは？

～言葉の「意味」を理解する仕組み～

① エンベディング(埋め込み)モデルとは？

言葉や文章、画像、音声などをAIが理解できる数値ベクトルに変換する技術。意味的に近いものは空間上でも近く配置されます。



② 意味の類似例:

症状グループ

頭痛
偏頭痛

心臓疾患グループ

心筋梗塞の初期症状
胸の圧迫感、左肩への放散痛

果物グループ

りんご
みかん

③ 医療現場での応用



最適な症例検索の実現

「〇〇のような症状で△△の検査結果が出た60代男性」など自然文での検索が可能に



記録の検索性向上

電子カルテ、手書きメモのOCRデータ、音声記録など異なる形式のデータも横断的に検索



見逃し防止・早期発見支援

電子カルテ情報を解析し、関連性の高い疾患の可能性や見落としがちな所見をアラート



救急時の迅速な情報アクセス

断片的な情報から関連性の高い問診項目、鑑別疾患、推奨検査を即座に表示



曖昧な検索ニーズへの対応

「なんとなくお腹の調子が悪い」といった表現からも、AIが意図を汲み取り適切な情報を提示

従来のキーワード検索では不可能だった、文脈や意味の類似性に基づいた高度な情報検索・分析を実現

導入事例:A病院様

「診断精度向上と医師の負担軽減に貢献」

▲ 導入前の課題

- 若手医師が過去の類似症例を参照するのに膨大な時間がかかっていた
- 稀な疾患や非典型的症状の場合、診断のための情報収集が困難
- カンファレンスで関連文献や類似症例を即座に提示できない

まるで経験豊富な専門医が常に隣でアドバイスをくれているようです。特に、診断に迷うようなケースでは、AIが提示する客観的なデータや類似症例が大きな助けとなっています。若手医師の教育ツールとしても非常に有効だと感じています。

- 消化器内科 部長 B医師

↗ 導入効果

32%

診断時間
短縮率

4.8/5.0

医師の
満足度

5.2倍

類似症例
発見効率向上



当社のエンベディングAIが選ばれる理由

貴院の医療DXを強力に推進する、私たちの3つの強み

オンプレミスで動作可能



🔒 機密情報の院内完結

🛡️ セキュリティ強化

- ✓ 患者様のプライバシー情報を院内のセキュアな環境で運用
- ✓ 既存の電子カルテシステムとの柔軟な連携を実現

- ✓ 外部サーバーへのデータ送信が不要で情報漏洩リスクを最小化

「セキュリティに配慮した環境で、安心して患者データを活用できます」

1

解釈可能性の追求



🔍 AIの判断根拠を提示

大夫 医師の判断を支援

- ✓ AIがなぜその情報を提示したのか、判断の根拠を明確に表示
- ✓ AIの提案に対して常に根拠を確認でき、納得感を持って活用可能

- ✓ 「ブラックボックス」化を防ぎ、医師の臨床判断の信頼性を確保

「なぜその結果になったのか、理由がわかることで医師としての判断に自信が持てます」

2

高いカスタマイズ性



病院の特性に最適化

⟳ 継続的な改善

- ✓ 診療科ごとの専門用語、院内独自の略語に合わせた細かなチューニング
- ✓ 導入後も継続的にモデルを改善し、常に最適なパフォーマンスを提供

- ✓ 各診療科・部門のニーズに応じたインターフェースと機能のカスタマイズ

「私たちの病院特有の言葉遣いや記録方法にも柔軟に対応してくれます」

3



導入プロセス: 最短・スムーズな導入を実現

貴院の負担を最小限に抑え、効果的なAI活用を迅速にスタートします



長期的なパートナーシップで

チーム紹介

経験豊富で先見性のあるリーダーシップ



伊藤克哉

CEO

戦略

スタートアップ

AI

- 東京大学 理学部(数学)卒、経済学研究科修了
- PFNにてリードエンジニア、論文16報以上
- 三井物産にてAI新規事業を立ち上げ
- 中学3年で応用情報技術者試験に最年少合格



高谷謙介

COO

コンサルティング

財務

プロジェクト管理

- 東京大学理学部(生物学)卒
- 筑波大学博士課程中退後、オムロン、FPTでの勤務経験
- 四国遍路踏破(1250km)、化学・物理オリンピック出場
- 東大馬術部OB



岩崎 宏介

アドバイザー

コンサルティング

医療研究

データサイエンス

- 外資系コンサルティングファームプリンシパル
- 100以上の医学系・RWD系論文の執筆歴あり
- 東京大学・自治医科大学・順天堂大学などとの共同研究実績
- 武田製薬・塩野義製薬など製薬企業との協業経験



未来の医療を、共に創る。

AIの力で、医療現場の可能性を、もっと先へ。

私たちのエンベディングAIソリューションが、先生方の知識・経験と融合することで、より質の高い、患者様中心の医療が実現できると信じています。